

県内景況情報

1月期

製造業

〈食料品〉

〔パン・菓子製造業〕

組合員の減少が続いているので大変である。

〔野菜漬物製造業〕

県組合員1社あたり10人以下企業の存続は今後厳しいと思われる。M&Aにうまく組み込まれるかそのまま廃業に追い込まれるところもある。近代化に乗り遅れているところ、販売商流に乗れないところもある。

〈木材・木製品〉

〔木材・木製品製造業(家具を除く)〕

大手メーカーの福岡都市圏内市場への進出により受注と単価の下落がみられる。それにより市場が圧迫している。

〈鉄鋼・金属〉

〔鋳物・鋳鉄〕

前年の同月と比較すれば増加しているが、例年の平均まで回復というところ。景気の先行きに不透明感があるが、若干の人手不足感は否めない。全体とすれば変わらず。

〈一般機械〉

〔一般機械器具製造業〕

電気使用量は前年同月比95.5%（前々年同月比99.1%）。

〈電気機器業〉

〔電気機械器具製造業〕

1月度売上高は、先月より若干減少（前年同月比でも減少）。年度末に向け、受注拡大を期待している。米・中の貿易摩擦の影響による中国国内景気減速の拡大を懸念している。産業用ロボット関連は、依然国内外共好調に推移しており来月度以降の増産を期待している。

〈その他の製造業〉

〔砂利採取業〕

対前年比90%。年度末に向け例年であれば需要増加傾向にあるところ、今年度は未だ低調推移である。

非製造業

〈小売業〉

〔食肉小売業〕

売上げは横ばい。仕入価格はやや上昇し、粗利は微減。人件費は相変わらず上昇。

〔燃料小売業(ガソリンスタンドを除く)〕

OPECと非加盟の産油国による協調減産開始。外国為替相場の円安・ドル高を受け、原油相場が上昇している。よってガソリン価格も昨年10月下旬以来、3ヶ月ぶりに上昇した。

〈卸売業〉

〔生鮮魚介卸売業〕

1月に入り、売れ行きがかつてない程悪化している。市場的内に客がいない状態。

〈商店街〉

〔北九州市〕

店舗の経営者の高齢化により、店を閉める店舗が増え空き店舗が目立っている。

〈サービス業〉

〔ビル管理業〕

当月の売上は、前年同月と比べると約6%の減少、且つ、前々年同月と比べると約4%の売上減少となった。次年度の入札等が2月から始まるので来年度の対応を組合員と協議する予定。

〈建設業〉

〔設備工事業〕

台風特需終息。1月は稼働日数が少なく購入実績大幅減。2月・3月数量注視。

〈運輸業〉

〔道路貨物運送業〕

1月も各組合員平均で売上は増加しているが、収益はこのところの燃料単価が高騰していることが影響し前年比マイナスとなっている。燃料単価については高値水準が継続している。

福岡県の業種別D・I値の変化

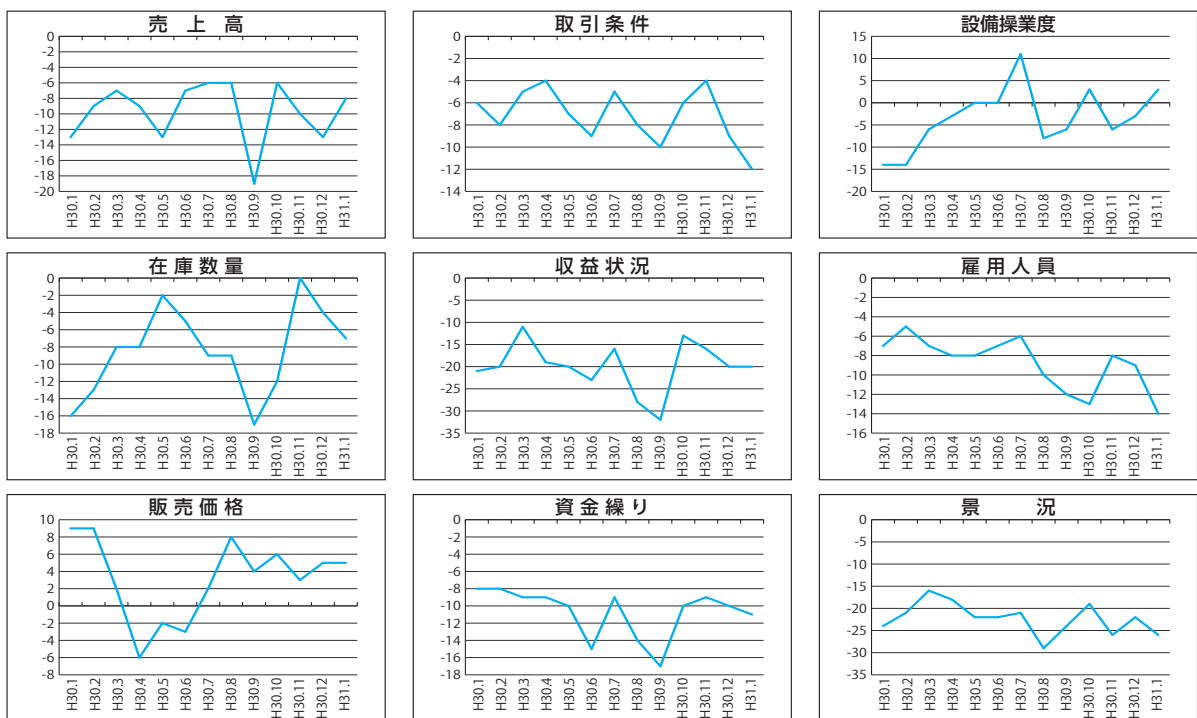
(福岡県中小企業団体中央会調査)

業種	項目	前年同月比								
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	景況
製造業	食料品	↓	→	→	→	↓	→	↓	→	↓
	繊維・同製品	↓	↓	→	↓	→	↓	↓	↓	↓
	木材・木製品	→	→	→	→	↓	→	→	→	→
	印刷	↑	→	↑	→	↑	↑	→	→	→
	窯業・土石製品	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	鉄鋼・金属	↑	→	→	→	→	→	↑	→	→
	一般機器	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	電気機器	↓	→	→	→	→	→	→	→	→
非製造業	卸売業	↓	→	→	→	↓	→	—	→	↓
	小売業	↓	→	→	→	↓	→	—	→	↓
	商店街	→	→	→	→	→	→	—	→	↓
	サービス業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	建設業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	運輸業	↓	—	→	→	↓	→	—	→	→
D・I		-8	-7	5	-12	-20	-11	3	-14	-26

↑ 増加・上昇・好転 ↑ 増加・上昇・好転の傾向 → 不変 ↓ 減少・下落・悪化の傾向 ↓ 減少・下落・悪化

D・Iとは…Diffusion Index(ディフージョン・インデックス)の略で、企業の業界感や設備、雇用人員の過不足などの判断を指数化したものである。前年同月に比べ「好転」「増加」したとする割合から「悪化」「減少」したとする割合を差し引いた値。

●前月比D・Iの動きをみると、9項目中2項目が上昇した。



全国中小企業団体中央会では、ホームページ上で月次景況調査(情報連絡員全国集計)を公開しておりますので、ぜひご覧下さい。

全国中小企業団体中央会ホームページ <http://www.chuokai.or.jp/>